

第11章 施策の実施計画の策定と実施

今後に進めるべき施策・事業は、優先度を考慮し、表16～18に示したように短期的（本計画策定後10年以内）に実施すべき施策と中・長期的に実施すべき施策に区分して実施する。

本計画では施策の方向性や事業の概要を示し、事業ごとの具体的な整備方法などは、本計画を受けて作成する「整備基本計画」で示す。

1 持続的に実施・短期的（早期）に着手する施策

史跡の保存・活用・整備に活かすため、これまでの調査・研究成果の整理、歴史資料や建造物についての調査・研究を、大学等の専門研究機関との連携も深めながら進める。また継続的で計画的な発掘調査を実施し、史跡の本質的価値の顕在化を図るとともに、史跡や遺構の保存・活用・整備に結び付ける。史跡地指定地外では、外濠緑道公園について追加指定を目指すほか、外堀跡とそれ以内の武家屋敷地跡を埋蔵文化財包蔵地として登録を図り、保護措置を徹底する。

「整備基本計画」を早期に作成するが、緊急性が高い事業については、本活用計画を踏まえて直ちに実施を図って行く。特に現在進行中の、坤櫓跡周辺石垣の災害復旧は着実に実施する。また、併せて史跡地や石垣の保存の上で不可欠となる、排水体系の整備も同様に進めて行く。さらに、文化財建造物の適切な保存のため、必要に応じた小規模修理や天守の修理・耐震対策を計画的に実施していく。

坤櫓跡周辺石垣以外の箇所の石垣の保存整備は、崩落危険度などを勘案しながら「整備基本計画」に基づいて着実に実施していく。石垣カルテや測量図の作成、変状等に対するモニタリング、ボーリング調査、発掘調査等を実施し、その成果を基礎資料として事業計画に反映させていく。

保存や活用のための構成諸要素については、望ましいあり方を検討し、更新が必要なものは更新し、整理や撤去が適当と判断されるものは、耐用年数など時期を見計らいながら整理や撤去を行う。特に説明板やサインは、保存整備事業の際や更新時などを機として、充実を図り、様式の統一や多言語化も進めて行く。植生管理については、本質的価値の構成諸要素の保存を最優先とした上で、市街地の中の「緑の空間」としての維持管理に努め、都市公園としての価値も適切に保持していく。内堀の水質については浄化の方法を模索する。

史跡の活用については、調査研究の進展による本質的価値の健在化、各種整備事業の進展、関係部局間や関係団体との連携の深化、先端技術の活用などを進めながら、新たな取り組みを模索したり、既存イベントのバージョンアップなどを図る。丸亀市立資料館については、当面は城内駐車場と合わせて施設を適切に維持管理し、史跡のガイダンス機能や丸亀の歴史・文化を学ぶ場としての充実を図る。こうした活動を通じて、より効果的な情報発信に努め、史跡の本質的価値はもとより、地域のシンボルとしての価値や観光地としての価値も高めていく。

2 中・長期的に実施すべき施策

史跡丸亀城跡に関する調査・研究を一層深化させ、本質的価値の健在化を進めるとともに、情報発信に努めていく。特に山上曲輪群地区や下曲輪御殿地区では発掘調査を実施し、その成果を受けて櫓・門・御殿の上屋や庭園の復元を含めた活用のための整備の方法を検討し、

事業化を図っていく。

また、石垣の修理や保存整備、文化財建造物の修理や耐震対策も計画的に継続し、そのための事前調査も着実にを行う。

丸亀市立資料館と城内駐車場については、御殿地区での史跡整備の進展と歩調を合わせながら、史跡地外への移転整備を模索する。

史跡丸亀城跡の本質的価値の向上に努め、保存・活用・整備を進めながら、景観形成にも配慮し、史跡地としての魅力を高めて、未来へと繋いでいく。

表 18 実施すべき施策

	持続的に実施・短期的（早期）に着手する施策	中・長期的施策
保存	<ul style="list-style-type: none"> ・丸亀城跡全体を対象とした調査・研究（資料の調査・収集、櫓等復元のための情報についての懸賞金事業）の推進や従来の調査・研究成果をまとめた報告書の刊行 ・大学、博物館等と連携した調査・研究 ・発掘調査による地下遺構の存在状況や保存状態の確認 ・「整備基本計画」の策定 ・丸亀城跡石垣全体の詳細調査、測量図・石垣カルテ等の作成 ・天守の修理・耐震対策 ・丸亀城跡全体の本来的な排水体系・施設（遺構）の調査 ・史跡地の日常管理を徹底し、異変の早期発見・早期対応に努め、自然災害にも備える ・文化財建造物やその他の施設も含めた防犯・防火（設備更新も含む）対策 ・外濠緑道公園の調査と史跡追加指定 ・武家屋敷跡・外堀跡の埋蔵文化財包蔵地登録と必要な保護措置の徹底 ・出土遺物や歴史資料の適切な管理・保存処理・修理 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料館、大学、専門機関とも連携した、丸亀城跡全体を対象とした調査・研究の一層の深化 ・石垣のモニタリング（変状調査）の高度化 ・石垣外の地下遺構（井戸や生駒氏時代のものを含めて）の存在状況や保存状況を確認し、史跡整備に繋げていくことを目的とした計画的な発掘調査の実施と必要に応じた保存対策の実施

表 18 (続き) 実施すべき施策

	持続的に実施・短期的（早期）に着手する施策	中・長期的施策
活用	<ul style="list-style-type: none"> 丸亀城跡（文化財建造物や石垣等）の積極的な公開 歴史遺産としての活用（調査・研究の過程と結果、石垣の修理等についての情報発信、ボランティアガイド等の人材育成、広域連携等）の推進 学校教育における活用（歴史体験学習、自然観察学習等）の推進 生涯学習における活用（交流事業、市民学級、公民館講座等）の推進 地域づくり・観光における活用（イベントの開催、レクリエーションの場としての活動、市民協働、延寿閣別館の施設活用、周辺観光資源地との連携、ビューポイントの設定、インバウンドへの対応、オリジナルグッズの充実等）の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 短期的・継続的な施策をブラッシュアップしながら継続していく。
保存のための整備	<ul style="list-style-type: none"> 坤櫓跡周辺石垣の災害復旧 坤櫓跡周辺石垣以外の石垣や斜面、下曲輪地区土塁について、保存対策の必要性や修理方法等の検討及び事業化 史跡地全体にわたる排水体系の整備や地盤の防水対策 天守をはじめとした文化財建造物の修理と耐震対策 石垣や地下遺構の保全のための植生環境の適切な管理（樹木伐採など） 	<ul style="list-style-type: none"> 石垣をはじめとした本質的価値の構成諸要素の保存整備の継続
活用のための整備	<ul style="list-style-type: none"> 来訪者が安全で快適に城跡を見学できるような植生環境（危険木伐採、草刈り）の管理、便利施設（園路・トイレ・あずまや・ベンチ等）や照明機器等の適切な維持・管理・補修、危険回避対策 史跡についての説明板や案内サインの充実（内容や数の向上、様式の統一化、多言語化、Wi-Fi 環境の整備、先端技術の活用等） 丸亀市立資料館などのガイダンス機能の向上、天守など既存施設での展示の見直し 内堀の水質浄化対策 建物や庭園復元等の活用のための整備に向けた、資料・情報の収集、整備方法等についての調査・研究 	<ul style="list-style-type: none"> 山上曲輪群地区の櫓・門、下曲輪御殿地区の御殿・庭園の復元を含む整備 適切な動線計画による園路の再整備 適切な植生環境の管理のブラッシュアップや便利施設の再検討に基づく、適切な維持管理の継続・更新、または施設の整理・撤去。 御殿・庭園の整備と歩調を合わせた資料館・城内駐車場の城外への移転 史跡になじまない施設・構築物の撤去

表 19 施策のスケジュール

実施 施策	項目	年度									
		2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
保存	調査・研究（資料調査・収集、櫓等復元のための懸賞金事業）、報告書の刊行、大学等との連携										
	発掘調査による遺構の確認										
	「整備基本計画」の作成										
	石垣詳細調査（測量・カルテ作成等）										
	天守の耐震診断										
	史跡地全体の保存管理										
	史跡地全体の防犯・防火対策										
	外濠緑道公園の調査・追加指定										
	外堀跡・武家屋敷跡の埋蔵文化財包蔵地登載										
	外堀跡・武家屋敷跡の保護措置の徹底										
	出土遺物や歴史資料の保存管理										
	活用	丸亀城跡の積極的な公開（文化財建造物や石垣等）									
歴史遺産としての活用（調査・研究・修理についての情報発信・ボランティアガイドなどの人材育成、広域連携等）の推進											
学校教育における活用（歴史体験、自然観察等）の推進											
生涯学習における活用（交流事業、市民学級、公民館講座等）の推進											
地域づくり・観光における活用（イベントの開催、市民協働、延寿閣別館の施設活用、周辺観光地との連携、ビューポイントの設定、インバウンドへの対応、オリジナルグッズの充実等）の推進											
坤櫓跡周辺石垣の災害復旧											
保存のための整備	その他の石垣修理や斜面安定、土塁保存										
	排水路の整備										
	史跡地全体に関わる地盤の防水対策										
	天守の修理と耐震対策										
	大手門等の文化財建造物の耐震対策										
	石垣等遺構保全のための樹木伐採など										
活用のための整備	来訪者が安全で快適に城跡を見学できるような植生、利便施設の適切な維持・管理・補修、危険回避対策										
	城内説明板や案内サインの充実										
	丸亀市立資料館等のガイダンス機能の向上、展示の見直し										
	内堀の水質浄化										
	建物や庭園の復元整備に向けた調査・研究										